

お野立所など式典会場の模型を公開

第59回全国植樹祭 6月15日開催

全国植樹祭の開催に伴い、建築されるお野立所などの式典会場の模型が3月3日、北秋田地域振興局の入口ロビーで公開されました。公開された式典会場の模型は、表参道ヒルズ（東京）の設計などで知られる建築家・安藤忠雄氏（東大特別栄誉教授）が代表を務める安藤忠雄建築研究所（大阪市）の設計をもとに制作。秋田の民家の伝統的様式「中門づくり」のお野立所が中央に配置、その両翼に「秋田杉の回廊」が設けられ秋田らしさを表現しています。

当日は、お野立所に天皇皇后両陛下がご臨席になり、所前でブナ、トチノキ、秋田スギなどをお手植え、お手播きする予定となっています。



精巧に作られた式典会場の模型

自慢の料理を持ち寄り交流深める

ふるさと☆食のつどい阿仁地区と森吉地区

「食・文化・人」について語り合う「ふるさと☆食のつどい阿仁地区」が2月22日、ふるさと文化センターで、同森吉地区が3月6日、森吉コミュニティセンターで開かれ、地域の伝統料理、家庭料理、アイデア料理などを持ち込み、地域の「食」を通して交流を図りました。

また、阿仁地区では「食文化あきた考」と題した安部甲氏による講演が行われ、参加者らは阿部さんのアドバイスをメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。森吉地区でも元秋田県農業改良普及員の福岡雅子氏による講演が行なわれ、福岡氏は「食文化は、時代やその地域の生活、気候に強く関係している。家庭料理はその家の知恵や技術が凝縮された財産であり、日常生活の中で意識して次の世代に伝えて残していくことが大切。また、自分の年代の料理にこだわらず若い世代の味にも理解を示して、家庭料理を伝え残していかなければならない」などと地域の食文化について持論を展開しました。



上 たくさんさんの伝統料理やアイデア料理を試食する阿仁中生
下 金子ヨさんによる野蒜を使った実演料理



つどいでは、試食を兼ねた食和会で、料理の味比べをしたりレシピをメモするなど「食」の話に花を咲かせ、地域の食文化の素晴らしさを再認識していました。阿仁地区のつどいに参加した阿仁中学校の生徒は、阿仁にはたくさんさんの伝統料理があることを知り、「この食文化を伝えていきたい」と感想を述べていました。

お茶会で「桃の節句」を楽しむ

くたかのす幼稚園「ひな祭りお茶会」

昨年4月に鷹東北・西幼稚園が統合してきた市立たかのす幼稚園（工藤英俊園長、園児20人）で3月3日、「ひな祭りお茶会」が市内の茶道教室の協力を得て開かれました。同園のひな祭りに合わせたお茶会は、表千家小坂キヌエ社中の協力により平成11年より続いているもので今回で10回目となります。

お茶会では、小坂社中のみなさんが、園児一人ひとりと和菓子と釜の湯から点てた抹茶を振舞うと、子どもたちはお茶の準備をしている最中に小坂代表から飲み方の指導をして頂いたとおりの作法で、大きな茶碗を小さな手に持ち、抹茶の微妙な味に少しとまどいながらもお茶会を楽しみました。



お茶とお菓子で楽しんだ「ひな祭りお茶会」

広大な雪原を親子で楽しむ

第28回県民歩くスキーのつどい

第28回県民歩くスキーのつどいが2月24日、県立北欧の杜公園で開かれ、市内外から訪れた幼児から70代まで約300人の参加者が歩くスキーを楽しみました。

大会は、市及び市教育委員会の主催。北欧の杜で行なわれる歩くスキーは、自然との触れ合いを通じた親子のレクリエーションや、広大な雪原を楽しめるのが魅力です。

参加者は自分の体力にあった距離を、それぞれのペースで楽しく滑り、ゴール後は、地元桃集落の皆さんが作った豚汁が参加者全員に振る舞われたほか、合川特産の比内地鶏キリタンポセットや地酒などが当たる抽選会が開かれ、楽しい1日を過ごしました。



北欧の杜公園内のコースで、歩くスキーを楽しむ参加者

森吉山の樹氷を堪能

台湾・韓国旅行エージェンツ招請事業

台湾と韓国の旅行エージェンツが2月20日と28日に、森吉山阿仁スキー場を訪れ、自然が造る神秘の樹氷を堪能しました。

冬の秋田の魅力体験し、台湾、韓国からの観光客誘致を推進するため、県と県観光連盟が主催したもので、台湾から8名、韓国から6名の旅行エージェンツが参加しました。

このうち、台湾エージェンツ一行は、仙台から花巻、十和田、仙北市などを視察したあと阿仁スキー場入り。ゴンドラ乗車後20分で「神秘の世界」へ到着すると、壮大な樹氷群の美しさを満喫することができ、宿泊を組んだ旅行商品として企画できると好評を得ていました。



樹氷の美しさを満喫する台湾旅行エージェンツの一行